

52期生（新2年生）

地理予習スライド③

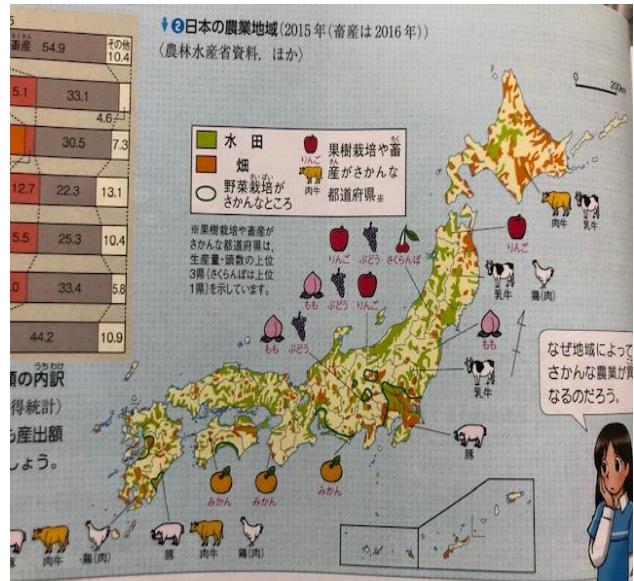
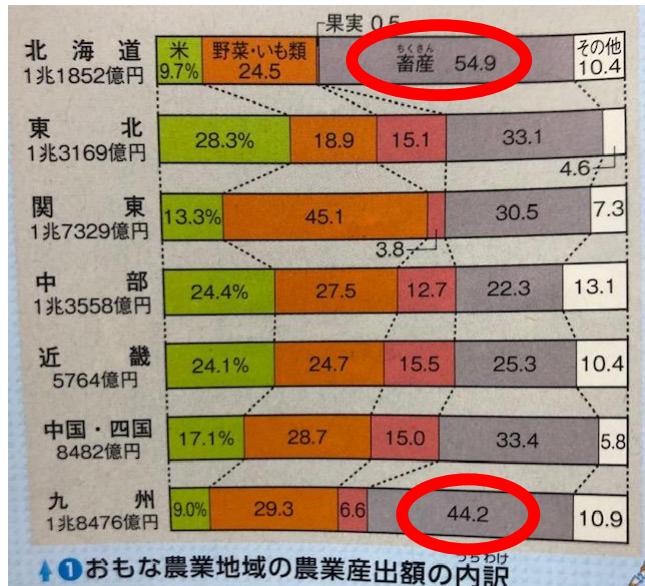
授業が再開したら学ぶ範囲です。

**() の中に入る言葉を
地理の教科書を見ながら勉強してください。**



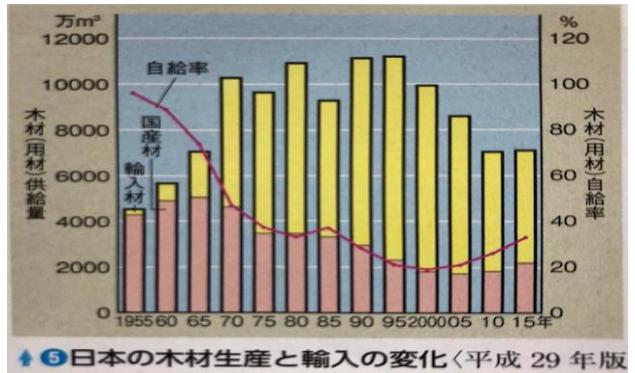
6時間目

☆日本の農業・林業・漁業とその変化(p158~)



農業・林業…機械化がすすむ

- ・耕地の半分以上は水田
- (① 作 (米づくり)) が特にさかん
- ・扇状地など日照や水はけのよい土地
- (② 栽培)
- (③冷涼→ 、温暖→ 、少雨→)



・大都市周辺

→野菜などの(④ 農業)

(高速道路の発達で、新鮮な野菜を近くの大都市にすぐ輸送できるから)

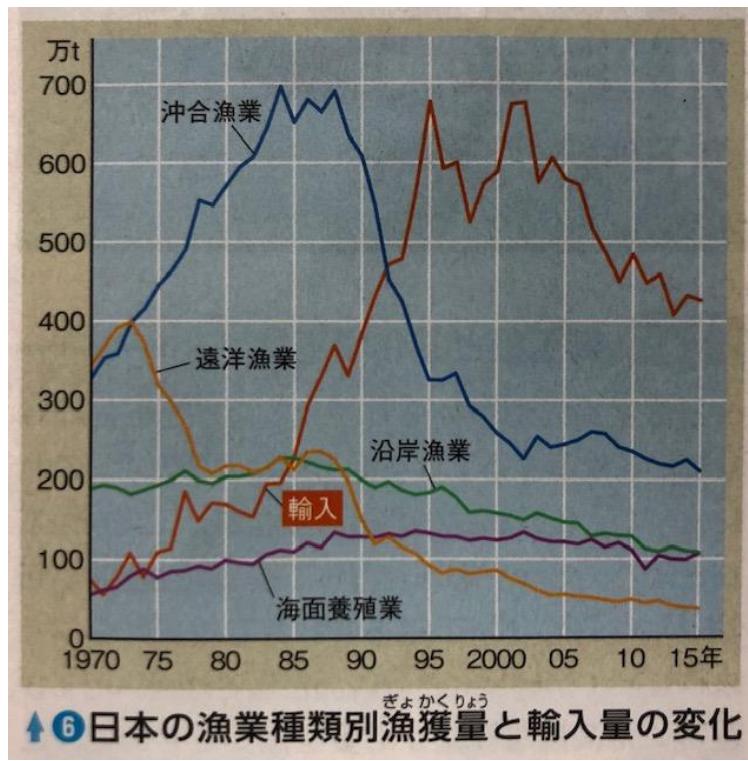
・作物の生育をすすめる(⑤ 栽培)と生育を遅らせる(⑥ 栽培)

(市場での供給量が少ない時期に出荷すると、高い価格で売ることができるから)

- ・北海道や九州→大規模な畜産(鶏・豚・牛など)
- ・「すぎ」や「ひのき」などの木材を生産



課題: 輸入の増加による(⑦ 率)の低下、就業人口の減少と(⑧ 化)



漁業…暖流と寒流がぶつかる潮日が好漁場

・かつては日本から遠い (⑨ 漁業) や、
日本近くの (⑩ 漁業) がさかん



(⑪ 水域) の設定で、漁獲量が激減



「とる」漁業から「育てる」漁業へ

・魚介類を大きくなるまで育てて増やす

(⑫ 業)

・稚魚や稚貝を放流し、成長したものをとる

(⑬ 漁業)

(答え)

①稻作（米づくり）

②果樹栽培

③冷涼→りんご、温暖→みかん、少雨→ぶどう

④近郊農業

⑤促成栽培

⑥抑制栽培

⑦食料自給率

⑧高齢化

⑨遠洋漁業

⑩沖合漁業

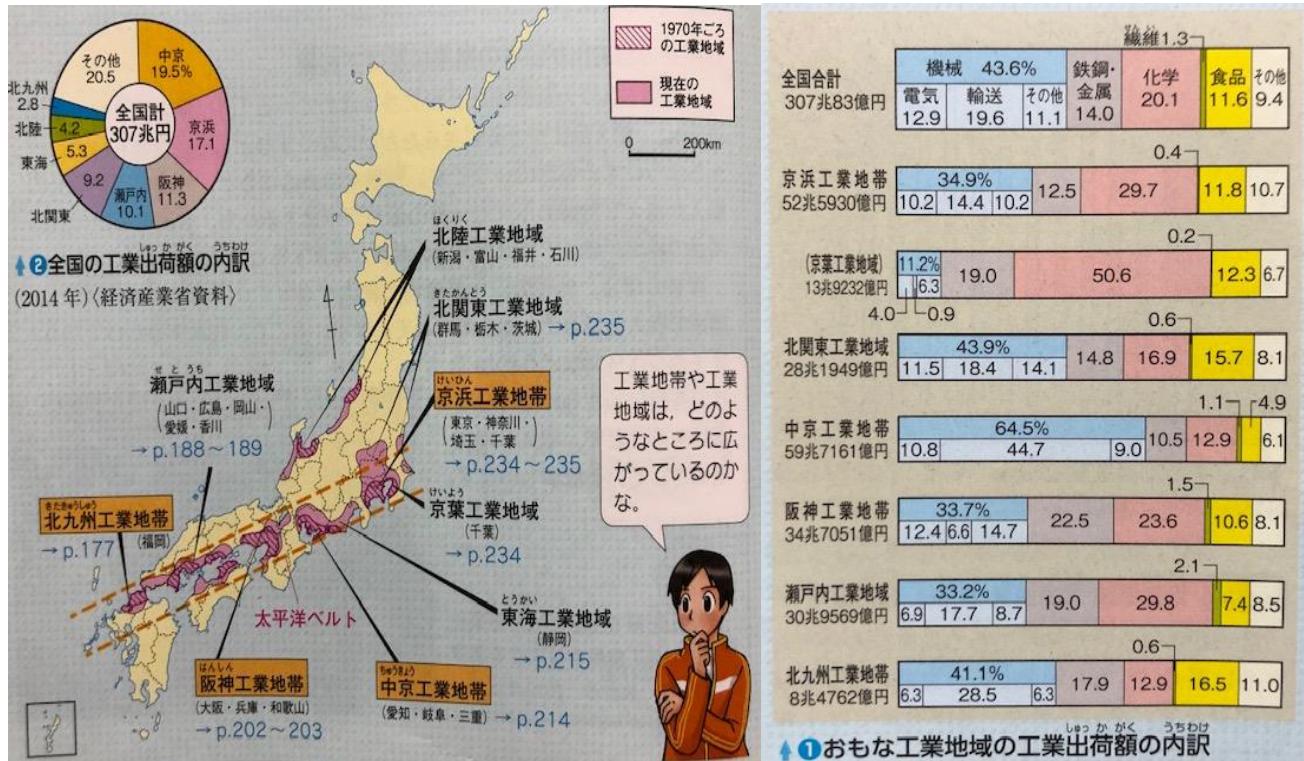
⑪排他的経済水域

⑫養殖業

⑬栽培漁業

7時間目

☆日本の工業とその変化 (p160~)



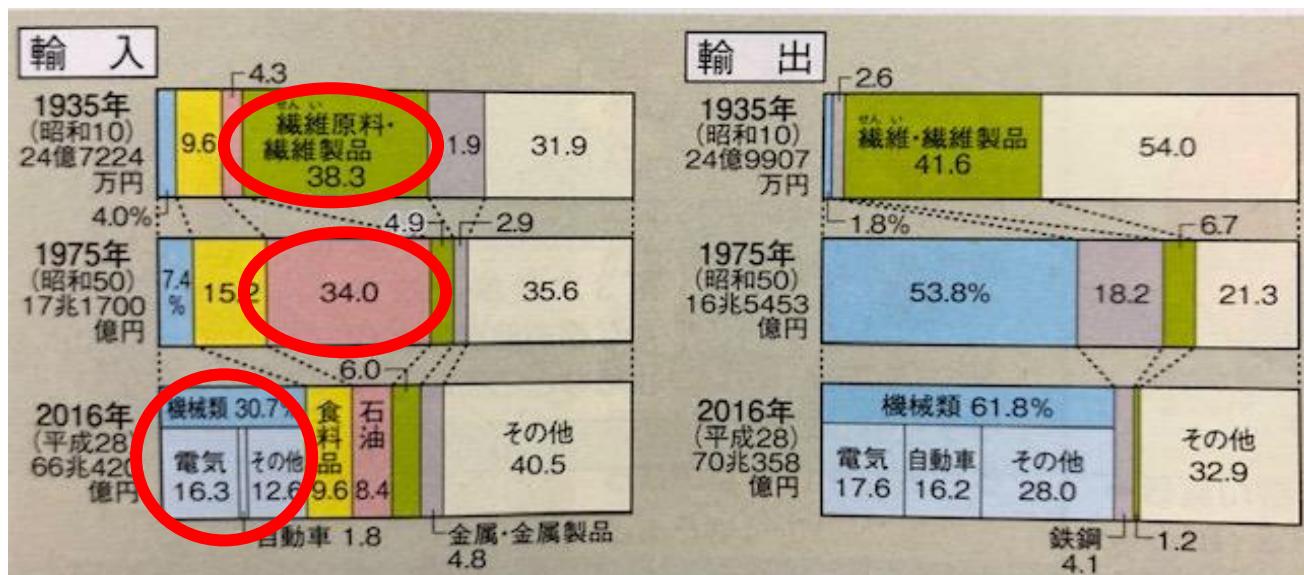
工業

… (① 工業 → 工業 → 産業) へと発展
・ 4つの工業地帯 (② _____、_____、_____、_____) と
周辺の工業地域 (北陸、北関東、京葉、東海、瀬戸内)



・臨海部では、石油化学工業や製鉄業の工場が立地する (③ _____ ベルト)
→ 原油や鉄鉱石などの輸入資源が手に入りやすいため

・内陸部では、(④ 工業や 工業)などの組み立て型の工業団地
→部品の輸送に高速道路が便利なため



・日本の工業…原料を輸入し、製品を輸出する
(⑤ 貿易) で発展



1980年代～欧米と (⑥貿易) で対立

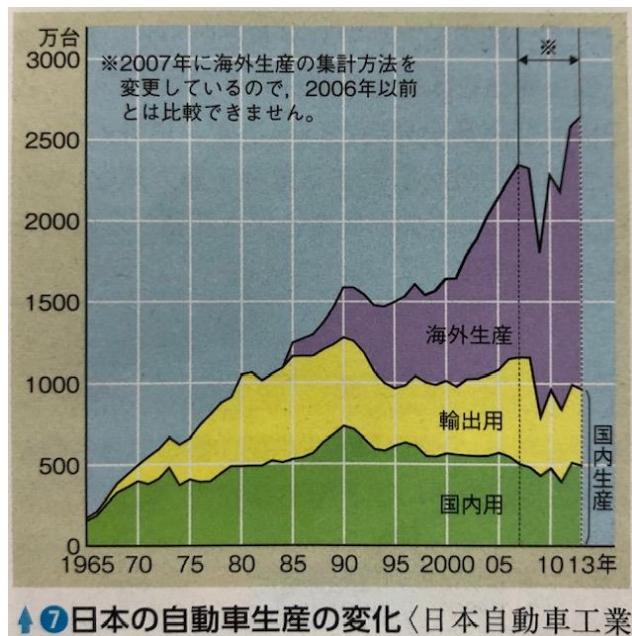


欧米やアジア（日本より土地や賃金が安い）に
工場をつくって生産拡大



課題：国内の生産が衰退する「(⑦産業の 化)」

- ・韓国、中国などの企業の追い上げ
- ・一方で日本企業の高い技術、性能への評価も



資料2 アジア主要都市の一般工の月給

都市名	月給基本給(米ドル)
ペキン	746
バンコク	378
ハノイ	204
ジャカルタ	324
東京	2406

(2017~18年)(JETRO資料)

(答え)

①軽工業→重化学工業→先端技術産業

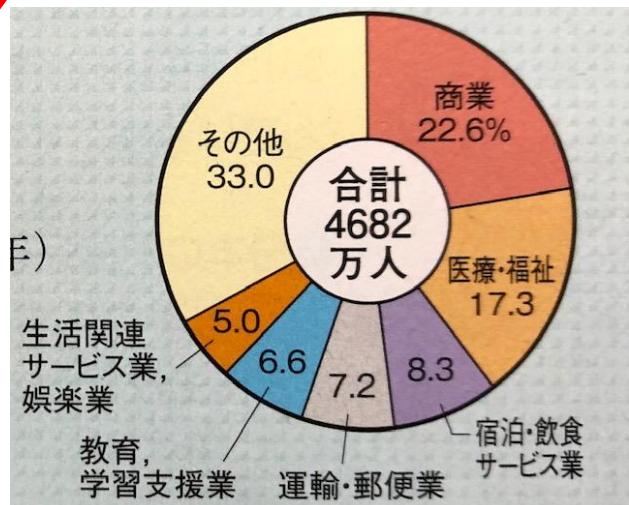
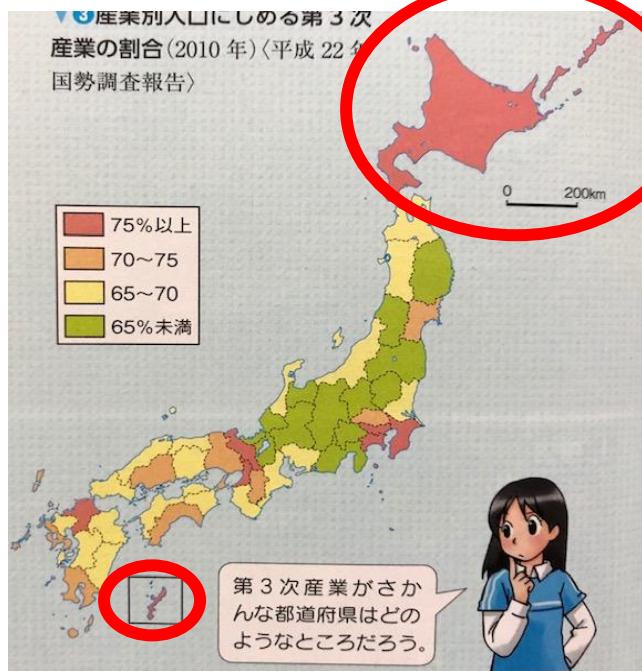
②京浜、中京、阪神、北九州 ③太平洋ベルト

④輸送機械工業や電気機械工業

⑤加工貿易 ⑥貿易摩擦 ⑦産業の空洞化

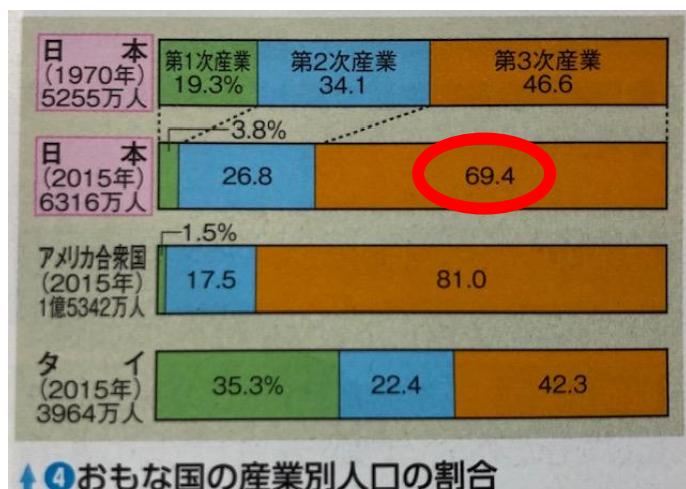
8時間目

☆日本の商業・サービス業 (p162~)



・第3次産業

…商業やサービス業、全就業者の(①約 %)近く
北海道や(② 県)は観光業が多い



↑⑤食品に関するさまざまな商品を扱う卸売店(大阪府、大阪市、2013年撮影) 食器や調理器具のほか、厨房機器や食品サンプルなど、品ぞろえが豊富です。

商業

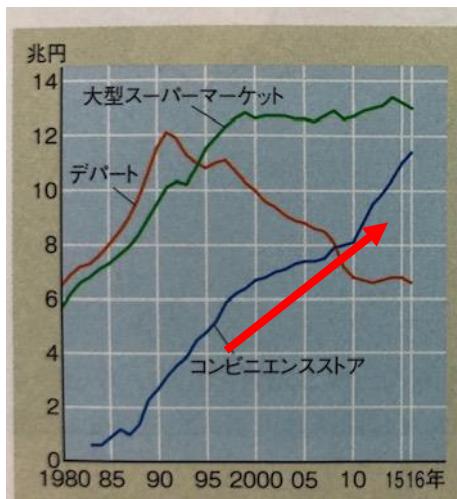
…小売業、(③ 業)など。

④商店街やデパート（百貨店）での買い物



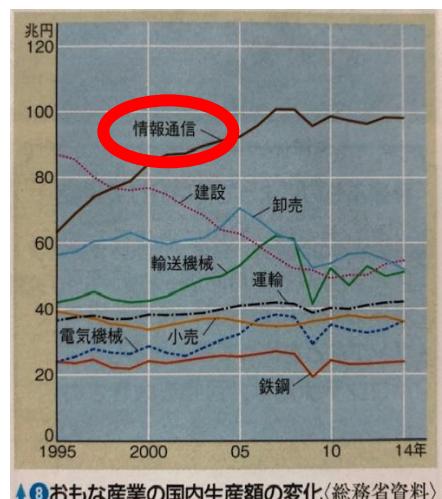
今 (④) やショッピングセンター、

通信販売（ネットショッピング）などが拡大



⑤デパート、大型スーパー・マーケット、コンビニエンスストアの販売額の変化（商業動態統計調査、ほか）

資料活用 販売額が増えているものと減っているものはそれぞれどうでしょうか。



⑥おもな産業の国内生産額の変化（総務省資料）

サービス業

…運輸、飲食、医療、教育など。

電話、インターネットなどの

(⑤ (ICT) 関連産業) が急速に拡大

医療や福祉（介護や保育）は大都市だけでなく、全国的に必要

(答え)

①約70%

②沖縄県

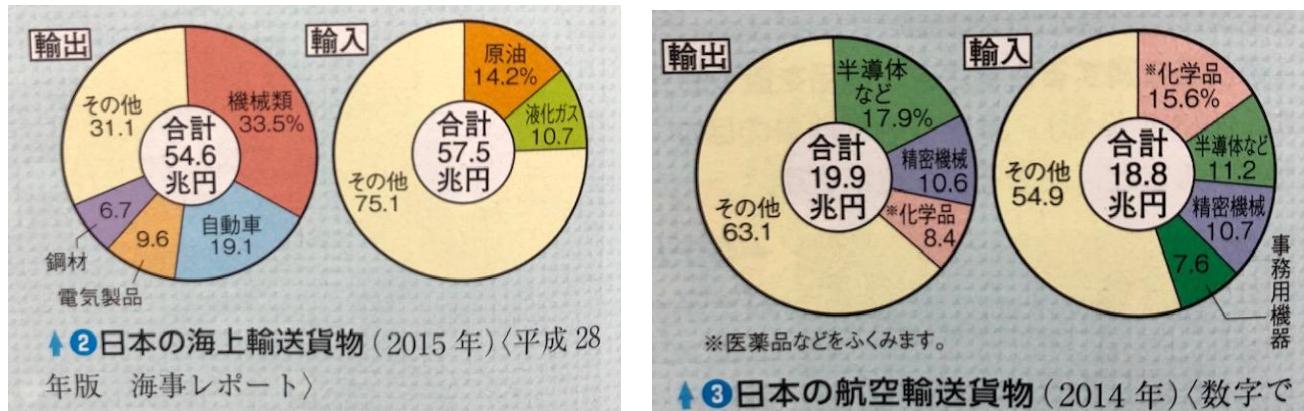
③卸売業

④コンビニエンスストア

⑤情報通信技術（ICT）関連産業

9時間目

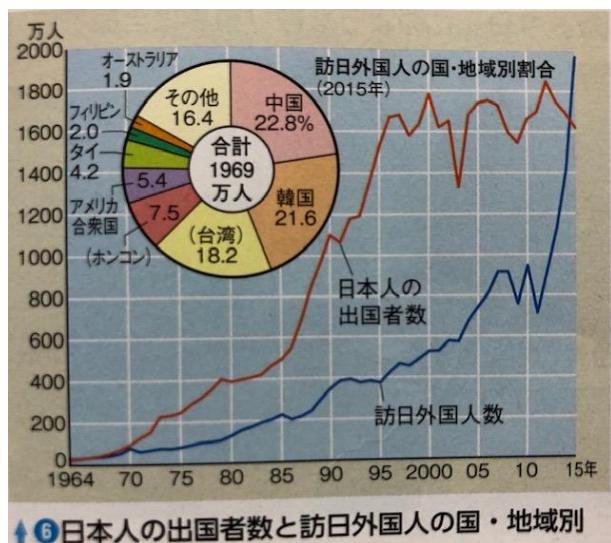
☆世界と日本の交通・通信網 (p164~)



世界とのつながり

・(1) 輸送

→資源(原油・鉄鉱石など)の輸入、機械類の輸送

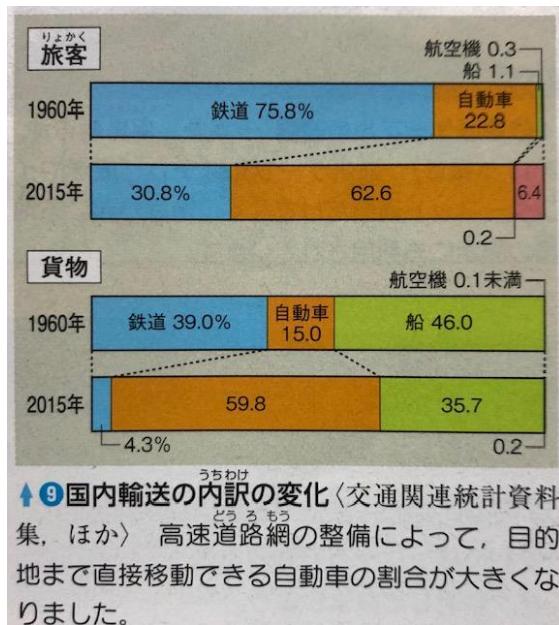


・(2) 輸送

→ICや半導体、科学光学機器などの軽量で高価なもの

・(3) (州)からの訪日外人數が急増

→成田、羽田(東京国際)、関空を (4) 空港に



❾国内輸送の内訳の変化(交通関連統計資料集、ほか) 高速道路網の整備によって、目的地まで直接移動できる自動車の割合が大きくなりました。

国内のつながり

都市：新幹線、鉄道、空港などの交通網が拡大
特に(⑤)の整備によって
自動車輸送の割合が高くなる

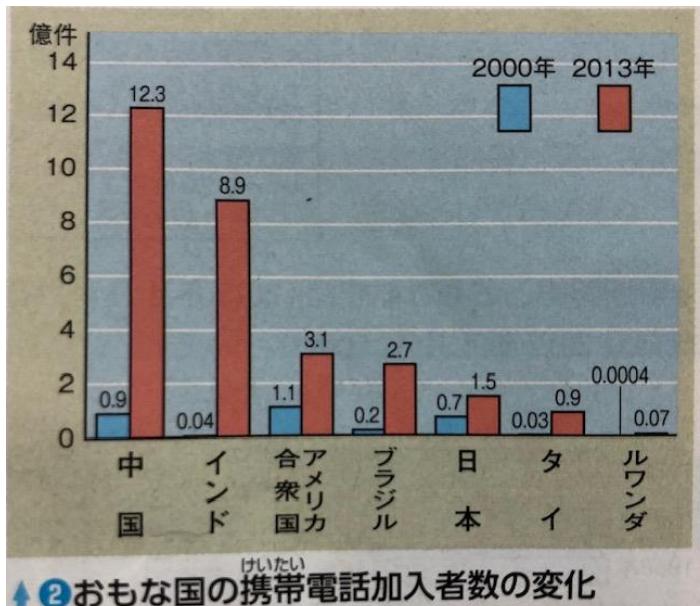
地方：(⑥ 地域) の鉄道・バスは縮小

通信網

(⑦通信) や (⑧海底)
により、インターネット環境が拡大
情報のやり取りが早く、容易に。離島での遠隔
医療診断なども可能



発展途上国では（先進国に比べて）インターネットの利用者率が低いなどの （⑨ 格差）が課題



資料3 インターネットの利用者率

国名	利用者率(%)
イギリス	94.8
ドイツ	89.6
アメリカ合衆国	76.2
ウクライナ	52.5
ケニア	26.0
バングラデシュ	18.2
エチオピア	15.4

(2016年、推定)(2018/19年版「世界国勢図会」)

(答え)

①海上輸送 ②航空輸送 ③アジア州

④ハブ空港 ⑤高速道路 ⑥過疎地域

⑦通信衛星 ⑧海底ケーブル ⑨情報格差